

2025 年度 健康栄養学部 FD 活動方針・活動計画

健康栄養学部では、全学の FD 方針に基づき、以下の取り組みを実施する。

1. 言語スキルの向上

授業や学外実習、就職活動等で求められる文章作成能力の向上を目的とする。

前年度のメール作成チェックリストに倣い、課題レポートや報告書の作成時に有用なチェックリストの作成を行い、学生へ提示していく。また、共通教育センター言語スキルチームと連携し、文章作成能力の強化・改善に向けた教育・指導を行う。

2. 基幹科目の強化

管理栄養士養成課程の各専門科目・授業について充実と改善を図ることを目的とする。

学部全体および各専門領域の教員同士で授業間の情報共有や授業聴講を行い、相互理解を深め、次年度へ向けてのシラバス作成と授業デザインの立案に役立てる。

3. 105 分授業の検証

105 分授業の導入による教育効果および学修への影響を検証し、授業内容の更なる充実と改善に役立てることを目的とする。

アンケート調査を実施して、教育的効果の有無を検証するとともに学生自身が不都合に感じている点等を明確にする。改善点と課題解決について検討後、次年度の授業計画に反映させる。

4. 学修成果の可視化と能力分析

卒業研究および基礎演習における学修成果の可視化を行うこと、また、学生の個人能力と行動特性を把握することを目的とする。

卒業研究発表会および基礎演習報告会では学修成果を可視化するとともに、教員または学生相互間の評価をフィードバックすることで各人の学修課題の把握を促す。また、分析ツール BIG5-BASIC を利用して、学生個人の能力や特性（外向, 協調, 勤勉, 論理, 創造）の把握を促し、学生自身の成長やスキルアップに役立てる。

5. 国家試験に向けた学習支援の強化

管理栄養士国家試験における合格率の維持・向上に向けた学習支援体制の強化と改善を目的とする。

学事歴の変更に伴う授業期間の短縮や学生自身の変化に対応した学習支援方法・体制について学部教員間で検討を行う。4 年次生に対しては、継続的な模試の実施と補修講座の開催、成績に応じた個別指導を行う。また、3 年次生以下に対しては、学習習慣の定着を基本として、補習講座の内容について検討を行う。今年度の実施結果から、次年度計画の立案を進める。

以上